

調査研究の目的と構成

1. 調査研究の目的

全国各地に整備された公共ホール・劇場、美術館などの文化施設では、演劇や音楽、ダンスなどの各種公演、ならびに美術作品の展覧会など、芸術を表現し、公開する事業が活発に開催されている。しかしながら、こうした事業や活動は、すでに芸術や文化に関心のある市民を対象にしたものであることが多い。

これからの地域文化施設においては、こうした活動に加え、芸術や文化を地域の中に広め、できるだけ多くの市民に親しんでもらえるような取り組みも重要な要素である。芸術を一部の限られた人々のものとするのではなく、文化施設と地域や市民の垣根を低くし、芸術を未体験の人々に提供し、芸術への理解を促進する「芸術普及活動」は、将来の観客を育成する上でも重要な役割を担うものであり、とりわけ、自治体の設営する公立の文化施設においては、この芸術普及活動は、今後ますます重要なものになると予想される。

そこで本調査研究では、地域文化施設における芸術普及活動の現状を把握するとともに、その課題を明らかにしたうえで、今後の地域文化施設の目指すべき方向性を検討することを目的としている。

2. 調査研究の対象と範囲

(1) 調査研究の対象

本調査は、全国の公共ホール・劇場、美術館のうち、既に何らかの形で芸術普及活動を実施している施設を対象に実施した。具体的には、各種雑誌や情報誌、新聞等に掲載された情報から、既に芸術普及活動を実施している施設192館(劇場・ホール:118館、美術館:74館)に対してアンケート調査を実施し、回答のあった施設から特徴的な事業を実施している11箇所(劇場・ホール:6館、美術館:5館)を対象に事例調

*1: 詳しくは「芸術普及活動のタイプ分類と具体例(p.14)」参照

*2: アウトリーチ活動

- アウトリーチ (outreach) の本来の意味は、①手を伸ばすこと、手を伸ばした距離、到達距離、②(地域社会への)奉仕[援助、福祉]活動、(公的機関や奉仕団体の)現場出張サービス。
- 文化施設では、日頃、芸術や文化に触れる機会の少ない市民に対して、文化施設や芸術団体が働きかけをおこなうことを意味する。
- 美術館では従来型の教育普及活動に对比して、とくに「館外」活動に限定して使用されることもあるが、劇場やホールでは芸術普及活動全般を示すケースが多く、本報告書でも、芸術普及活動全般をさす用語として用いた。

*3: 具体的な調査対象の抽出方法、実施要領、回収状況などは「第3部 アンケート調査結果(p.101)」を参照。

査を実施した。したがって本調査は、国内の文化施設全体の平均的な状況を把握したものではない点に留意が必要である。

(2) 調査の範囲(「芸術普及活動」の用語と定義について)

本調査の実施に際しては、芸術普及活動の内容や具体例として、8つのタイプの事業を想定した(*1)が、実際の活動はこれらの複合されたもの、あるいはこうしたタイプ分類の不可能なものも含まれている。

また、美術館では「教育普及活動」という用語や事業の枠組みが定着しているのに対し、劇場やホールではそうした活動や事業が必ずしも十分に定着していないこと、また事業の範囲を「教育」的なものに限定しないことから、本調査では、主に「芸術普及活動」、あるいは最近定着しつつある「アウトリーチ活動(*2)」という用語を用いることとした。ただし分析の中では、「教育普及活動」(とくに美術館について)や「普及活動」という用語も用いたが、これらの用語に厳密な定義づけはおこなわず、ほぼ同義に用いている。

3. 調査研究の構成と内容

本調査では、アンケート調査、事例調査、専門家研究会という三つの調査・検討方法によって、地域文化施設における芸術普及活動の現状や課題、今後の方向性について幅広い視点から検討をおこなった。

(1) アンケート調査

アンケート調査では、既に芸術普及活動を実施している全国の公共ホール・劇場、美術館を対象に、芸術普及活動の実施状況、運営方法、問題点・課題、効果、個別の芸術普及活動の内容などを調査した(*3)。

(2) 事例調査

各地の地域文化施設で実施されている芸術普及活動の詳細を把握するため、アンケート調査に回答のあった施設のうち、特徴的な活動を実施している11施設を抽出し、事例調査（一部の施設は具体的な芸術普及活動の視察を含む）を実施した。事例調査の対象施設、調査項目は次のとおり。

調査対象施設

[劇場・ホール]

- 仙台市青年文化センター(宮城県)
- 越谷コミュニティセンター サンシティ越谷市民ホール(埼玉県)
- 世田谷パブリックシアター(東京都)
- 厚木市文化会館(神奈川県)
- 小出郷文化会館(新潟県)
- 門川町総合文化会館(宮崎県)

[美術館]

- 佐倉市立美術館(千葉県)
- 名古屋市美術館(愛知県)
- 刈谷市美術館(愛知県)
- 岡山県立美術館(岡山県)
- 浜田市世界こども美術館(島根県)

調査項目

- 芸術普及活動の内容について
 - 特徴的な事業の内容、実施方法など
- 運営上工夫している点、直面している課題について
 - 学校・教育機関、NPO、市民ボランティア組織等との関係
 - 協力関係にあるアーティストとの関係
- 事業の効果や市民・地域との結びつきについて
 - 芸術普及活動で得られた市民・地域との結びつき

- アウトリーチ活動で得られた学校との結びつき
- 今後の方向性について
 - 地域文化施設が目指すべき方向性
 - 観客育成、次代の人材育成における役割
 - 総合的学習の時間など教育環境の変化に対して、劇場・ホールや美術館が担うべき役割

など

(3) 専門家研究会

本調査では、アンケート調査や事例調査と並行して、「専門家研究会」を設け、調査方法や調査結果について専門的な観点から検討をおこなうとともに、報告書のとりまとめについても議論をおこなった。

研究会は都合4回開催したが、研究会の委員および具体的な検討テーマは次のとおりである。

[専門家研究会 委員] (順不同、敬称略)

熊倉純子(社企業メセナ協議会 プログラム・ディレクター)

坪能克裕(作曲家、サンシティ越谷市民ホール 芸術監督)

中山三善(株キュレーター・オフィス 代表取締役、浜田市
世界こども美術館 学芸課長)

松井憲太郎(世田谷パブリックシアター 学芸係長)

山本育夫(ミュージアム・マガジン ドーム 編集長)

[検討テーマ]

- 芸術普及活動の枠組みや定義
- 芸術普及活動の意義、達成目標、効果
- 芸術普及活動の内容と実施方法、手法
- 他の機関や施設(学校、福祉施設など)と連携方法
- 芸術普及活動を実施するうえでの問題点や課題
- 今後の芸術普及活動展開の方向性 など

4. 報告書のとりまとめと構成

上記の調査結果を踏まえ、本報告書は以下の3部構成にとりまとめるとともに、調査全体の要約を作成した。

(1) 第1部:地域文化施設における芸術普及活動の現状と方向性

第1部では、アンケート調査、事例調査、専門家研究会での検討結果に基づき、地域文化施設における芸術普及活動について、導入の経緯と位置づけ、事業の内容、運営方法などの現状や課題を整理・分析し、芸術普及活動の意義とこれからの地域文化施設のあり方について考察をおこなった。

報告書のとりまとめに際しては、事例調査におけるインタビュー内容、専門家研究会での発言内容から、とくに参考になるとと思われるコメントを該当箇所に引用し、欄外に整理するとともに(*4)、ワークショップの様式や芸術普及活動のチラシ、ツール類も、参考資料として掲載した。

(2) 第2部 調査事例資料集

事例調査を実施した11施設について、アンケート調査、インタビュー調査、施設提供の資料類から、個々の施設ごとに芸術普及活動の実施状況や課題などについて、以下の項目に沿って整理した。

- 劇場・ホール／美術館の概要
- 劇場・ホール／美術館の特色、事業概要
- 芸術普及活動導入の背景、経緯
- 芸術普及活動の内容と運営
- 芸術普及活動の効果、今後の課題と展望

(3) 第3部 アンケート調査結果

アンケートの設問項目に沿って、調査対象全体と劇場・ホール、美術館の別にグラフ化し、集計結果を整理した。

*4: 事例調査の施設名は次のとおり簡略化して表記し、専門家研究会の委員名も姓だけの表記とした。
また、厚木市文化会館シアタープロジェクトの指導者、横内謙介氏(演出家・脚本家、扉座代表)、小出郷文化会館のリコーダーワークショップの指導者、吉澤実氏(リコーダー奏者)の発言も一部引用した。

- 仙台市青年文化センター: 仙台青文センター
- 越谷コミュニティセンター サンシティ越谷市民ホール: 越谷
- 世田谷パブリックシアター: 世田谷パブリック
- 厚木市文化会館: 厚木
- 小出郷文化会館: 小出郷
- 門川町総合文化会館: 門川
- 佐倉市立美術館: 佐倉市美
- 名古屋市美術館: 名古屋市美
- 刈谷市美術館: 刈谷市美
- 岡山市立美術館: 岡山市美
- 浜田市世界こども美術館: 浜田こども美